

ACE: 起動後 485 日経過すると通信障害が発生する

2012 年 9 月 TAC Case Collection より移行
2010 年 3 月初版

目次

- [主な問題](#)
- [解決策](#)

主な問題

起動後 485 日程度経過すると、マイクロエンジン (ME) の CPU 使用率が 100% となってしまう、ネットワークプロセッサ (NP) を経由した通信が行えなくなる可能性があります。その影響で、ACE を経由した通信が行えなくなり、通信障害が発生する可能性があります。

(ME、NP 等、ACE のハードウェア アーキテクチャに関しては [Connection Handling within the Cisco Application Control Engine Module Hardware](#) をご参照ください。)

また、その状態で、さらに2日程度経過すると ACE がコアファイルを生成し再起動する可能性があります。

解決策

この問題は、ACE モジュールに対しては [CSCtb23312](#) として、ACE アプライアンスに対しては [CSCtb37322](#) として登録されています。

- [CSCtb23312](#) (3) ACEs simultaneously hung at ~ 485 days of uptime
- [CSCtb37322](#) (3) ACEs simultaneously hung at ~485 days of uptime

この現象を回避するためには、上記修正が適用されたバージョンへアップグレードするか、定期的 (485 日経過するよりも前) に、メンテナンスの時間枠などを確保して、再起動を行ってください。

ACE の起動時間は show version で確認可能です。